

# 北陸信越地区 新潟ブロック協議会 地域総合戦略

2024年10月12日(提出日)

公益社団法人日本青年会議所

2025年度 北陸信越地区新潟ブロック協議会

会長 若桑 正樹

# 目次

1 新潟ブロック協議会の現状	3
1.1 新潟ブロック協議会内のLOMの状況	3
1.2 新潟ブロック協議会のLOM会員拡大実績	4
1.3 新潟ブロック協議会内の各LOMの入会3年未満会員の所属状況	5
1.4 新潟ブロック協議会内の10名以下のLOM及び要支援LOM	6
1.5 新潟ブロック協議会内のLOMの退会者数	7
1.6 新潟ブロック協議会内の例会実施状況	8
1.7 新潟ブロック協議会内の例会出席率	9
1.8 新潟ブロック協議会内のLOM拡大担当の有無と重任・再任について	10
1.9 新潟ブロック協議会内のLOMの法人格について	11
1.10 新潟ブロック協議会における直近3年間の議長・委員長の経歴確認	14
2 地域が描く理想の未来について	15
2.1 新潟ブロック協議会の現状についての考察	15
2.2 ブロック会長として描く地域の理想の未来(長期的なビジョン)	15
2.3 2025年度の方針	15
2.4 前年度からの引継ぎを反映したアップデートポイント	15
3 基本方針	16
4 ブロック連携事業(政策手法)	17
① 各地域における課題と質の高い運動の調査・発掘・研究	17
② 地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究	17
③ 誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援	17
④ ブロックアカデミーにおけるJAYCEE育成カリキュラムの運用	18
⑤ 理念共感拡大グランドデザインの検証	18
5 ブロック独自の事業	19
① ASPAC新潟大会に向けたブロック連携	19
② 新潟ブロックコンファレンスの企画・開催	20
③ JCカップU-11少年少女サッカー大会の企画・実施	21
④ 防災ネットワークの体制強化	22
⑤ 青少年育成事業の企画・実施	23
⑥ 新潟ブロック大会IN白根の実施	24
6 参考資料一覧	25

## 1 新潟ブロック協議会の現状

### 1.1 新潟ブロック協議会内のLOMの状況

■ブロック協議会内のLOM期首会員数の推移(単位:名 半角数字)

LOM名	2021年	2022年	2023年	2024年
いわふねJC	28名	23名	18名	17名
中条JC	29名	24名	16名	13名
新発田JC	75名	61名	53名	50名
にいがた北JC	26名	23名	20名	15名
佐渡JC	26名	20名	12名	14名
新潟JC	222名	248名	253名	193名
新津JC	15名	17名	16名	18名
五泉阿賀JC	21名	22名	11名	10名
白根JC	22名	29名	30名	28名
加茂JC	19名	19名	18名	13名
燕三条JC	66名	62名	72名	71名
見附JC	13名	15名	13名	13名
長岡JC	118名	113名	100名	93名
柏崎JC	48名	56名	50名	35名
小千谷JC	39名	36名	32名	33名
魚沼JC	20名	18名	16名	17名
雪国JC	25名	20名	14名	21名
十日町JC	25名	23名	23名	25名
上越JC	69名	56名	64名	63名
妙高JC	27名	23名	27名	22名
糸魚川JC	37名	36名	35名	38名
合計	970名	944名	893名	802名

## 1.2 新潟ブロック協議会のLOM会員拡大実績

■ブロック協議会内のLOM会員拡大実績(単位:名 半角数字)

LOM名	2021年	2022年	2023年	2024年
いわふねJC	2名	1名	3名	1名
中条JC	2名	0名	2名	0名
新発田JC	1名	12名	7名	6名
にいがた北JC	3名	1名	1名	4名
佐渡JC	3名	0名	4名	1名
新潟JC	108名	66名	55名	56名
新津JC	11名	2名	3名	4名
五泉阿賀JC	2名	2名	2名	7名
白根JC	5名	0名	2名	7名
加茂JC	4名	3名	1名	6名
燕三条JC	15名	13名	8名	11名
見附JC	4名	0名	2名	7名
長岡JC	25名	17名	28名	24名
柏崎JC	13名	6名	6名	4名
小千谷JC	9名	6名	3名	4名
魚沼JC	0名	0名	2名	3名
雪国JC	3名	0名	6名	4名
十日町JC	4名	1名	5名	16名
上越JC	9名	16名	12名	8名
妙高JC	5名	6名	4名	7名
糸魚川JC	6名	5名	11名	1名
合計	234名	157名	167名	181名

■現状の考察、及び、2025年度の拡大支援の方針について

新潟県内は6エリアに分かれていて、本年度は各エリアにエリア長を配置し拡大を行っています。2025年度はアカデミー委員会内に塾長を設置し毎月拡大の報告会と各LOMの拡大担当者との1on1ミーティング行い、拡大の支援、拡大方法の手法、拡大リストの作成等を行っていただきます。

新潟ブロック協議会全体を見ると拡大人数は微増しているため拡大はある程度行えています。しかし全体の人数が減っていることと対退会者数がそこまで多くないことから卒業生の人数が拡大人数を下回っていることが見られます。

### 1.3 新潟ブロック協議会内の各LOMの入会3年未満会員の所属状況

■ブロック協議会内のLOMの入会3年未満会員数(単位:名 半角数字)

LOM名	現在の会員数	入会3年未満 会員数	比率(%)
いわふねJC	18名	6名	33%
中条JC	13名	3名	23%
新発田JC	56名	10名	17%
にいがた北JC	19名	6名	31%
佐渡JC	15名	6名	40%
新潟JC	249名	139名	56%
新津JC	22名	6名	27%
五泉阿賀JC	17名	12名	70%
白根JC	35名	10名	28%
加茂JC	19名	10名	52%
燕三条JC	82名	25名	30%
見附JC	20名	8名	40%
長岡JC	117名	28名	23%
柏崎JC	39名	8名	20%
小千谷JC	37名	12名	32%
魚沼JC	20名	4名	20%
雪国JC	25名	8名	32%
十日町JC	41名	26名	63%
上越JC	71名	18名	25%
妙高JC	29名	18名	62%
糸魚川JC	39名	13名	33%

#### 1.4 新潟ブロック協議会内の10名以下のLOM及び要支援LOM

10人以下のLOMを記載

一社/公社	青年会議所名	人数	備考
	なし		

10人以上だが、2025年度に10人以下となる想定LOM

一社/公社	青年会議所名	人数	備考
一社	中条青年会議所	13→10	現状の把握を行い、日本本会と連携をして、会員拡大リストの作成支援、拡大方法のレクチャー、同行拡大を行っていく必要があります。

現状10名以下になる可能性はあるが、2025年の支援によっては10名以下にならない可能性があります。LOMの現状の拡大状況と方向性を確認したうえで日本本会の総合連絡調整会議、LOM開発委員会会員拡大委員会と連携をして拡大方法の支援、拡大同行支援方法の共有、拡大リストの作成などをし、ブロックの担当委員会と支援していきます。

五泉阿賀JC、見附JC、加茂JC、佐渡JCも現状は10名を切っていませんが、今後支援が必要なLOMです。人数減少の原因としてはコロナ禍での拡大が手薄になっていたことと、その時期の卒業生が多かったことがあげられます。現状の拡大方法の分析と今後の拡大に対する取り組みを調査し、随時懇親会を開いての調査をしながら、日本JC運動構築支援委員会(402)、LOM開発委員会(403)会員拡大委員会(405)に協力いただきながらLOM支援を行っていきます。また、対外事業ができていない少人数LOMには新潟ブロック協議会の事業構築から事業、報告まで参加していただき対外事業の意義とあり方について共に考えながらその地域にあった事業を創る準備をしていただきます。

#### ■ブロック協議会 会則第8条3項に対するブロック会長公式訪問スケジュールについて

ブロック協議会の会長は会則の通り、会員会議所への公式訪問の実施及び報告書の作成並びに理事会への報告を行う必要があります、下記に予定スケジュールを記載します。

	LOM名	どのような交流や会談を予定しているか
1月	中条JC、五泉阿賀JC、佐渡JC 見附JC	理事会への参加、LOMの課題抽出と拡大、アカデミーの連絡
2月	いわふねJC、新発田JC、にいがた北JC	各LOMへヒアリング行い、協議会との理念の共有を図るとともに、LOMの課題を抽出し各LOMへの連携に繋がります。
3月	新潟JC、白根JC、新津JC	各LOMへヒアリング行い、協議会との理念の共有を図るとともに、LOMの課題を抽出し各LOMへの連携に繋がります。
4月	燕三条JC、加茂JC、長岡JC	各LOMへヒアリング行い、協議会との理念の共有を図るとともに、LOMの課題を抽出し各LOMへの連携に繋がります。

5月	柏崎JC、魚沼JC、小千谷JC	各 LOM へヒアリング行い、協議会との理念の共有を図るとともに、LOM の課題を抽出し各 LOM への連携に繋がります。
6月	十日町JC、雪国JC、魚沼JC	各 LOM へヒアリング行い、協議会との理念の共有を図るとともに、LOM の課題を抽出し各 LOM への連携に繋がります。
7月	上越JC、糸魚川JC、妙高JC	各 LOM へヒアリング行い、協議会との理念の共有を図るとともに、LOM の課題を抽出し各 LOM への連携に繋がります。

## 1.5 新潟ブロック協議会内のLOMの退会者数

### ■ブロック協議会内のLOMの退会者数(単位:名 半角数字)

LOM名	2021年	2022年	2023年	2024年
いわふねJC	5名	1名	3名	1名
中条JC	0名	0名	6名	0名
新発田JC	0名	1名	1名	1名
にいがた北JC	2名	0名	0名	0名
佐渡JC	3名	1名	0名	0名
新潟JC	12名	10名	18名	12名
新津JC	0名	0名	0名	0名
五泉阿賀JC	0名	0名	0名	0名
白根JC	0名	1名	0名	0名
加茂JC	0名	0名	8名	0名
燕三条JC	7名	1名	0名	9名
見附JC	0名	0名	0名	0名
長岡JC	19名	5名	2名	6名
柏崎JC	0名	2名	4名	1名
小千谷JC	2名	0名	2名	0名
魚沼JC	2名	1名	1名	0名
雪国JC	1名	0名	0名	0名
十日町JC	1名	0名	2名	0名

上越JC	0名	0名	3名	0名
妙高JC	0名	0名	2名	0名
糸魚川JC	0名	0名	0名	0名

## 1.6 新潟ブロック協議会内の例会実施状況

■ブロック協議会内の例会実施状況(単位:回 半角数字)、及び、対外例会・事業実施状況

LOM名	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年対外 例会・事業回数
いわふねJC	12回	12回	12回	12回	3回
中条JC	12回	9回	12回	12回	4回
新発田JC	12回	9回	13回	13回	4回
にいがた北JC	12回	9回	12回	12回	10回
佐渡JC	6回	3回	5回	5回	4回
新潟JC	12回	12回	12回	12回	28回
新津JC	8回	9回	9回	4回	4回
五泉阿賀JC	3回	5回	6回	7回	0回
白根JC	4回	8回	12回	8回	1回
加茂JC	12回	8回	12回	12回	4回
燕三条JC	12回	10回	12回	11回	2回
見附JC	12回	12回	12回	12回	2回
長岡JC	12回	12回	11回	10回	17回
柏崎JC	12回	12回	12回	12回	5回
小千谷JC	11回	11回	11回	11回	4回
魚沼JC	3回	2回	8回	9回	2回
雪国JC	12回	12回	12回	6回	3回
十日町JC	12回	12回	12回	12回	3回
上越JC	12回	12回	12回	12回	5回
妙高JC	12回	9回	12回	12回	8回



糸魚川JC	12回	9回	12回	12回	2回
-------	-----	----	-----	-----	----

## 1.7 新潟ブロック協議会内の例会出席率

■ブロック協議会内のLOM例会出席率(年間平均)(単位:% 小数点以下無し 半角数字)

LOM名	2021年	2022年	2023年	2024年
いわふねJC	71%	50%	60%	70%
中条JC	67%	79%	60%	65%
新発田JC	81%	69%	75%	80%
にいがた北JC	81%	69%	75%	70%
佐渡JC	67%	79%	70%	60%
新潟JC	89%	79%	66%	71%
新津JC	66%	60%	60%	50%
五泉阿賀JC	67%	79%	70%	70%
白根JC	81%	69%	60%	70%
加茂JC	80%	72%	56%	78%
燕三条JC	81%	69%	64%	68%
見附JC	80%	80%	60%	60%
長岡JC	74%	70%	70%	70%
柏崎JC	65%	65%	65%	65%
小千谷JC	76%	71%	70%	54%
魚沼JC	60%	60%	60%	40%
雪国JC	67%	79%	70%	70%
十日町JC	67%	79%	70%	65%
上越JC	81%	69%	60%	75%
妙高JC	67%	79%	65%	70%
糸魚川JC	67%	79%	60%	50%

## 1.8 新潟ブロック協議会内のLOM拡大担当の有無と重任・再任について

■各LOMの拡大担当(会議・委員会・担当者)の有無と役職の重任・再任について(2024年度)

LOM名	拡大担当 (会議・委員会・担当者)の有無	過去3年間における 理事長・専務職の重任・再任
いわふねJC	○	×
中条JC	○	×
新発田JC	○	×
にいがた北JC	○	○
佐渡JC	○	○
新潟JC	○	×
新津JC	○	○
五泉阿賀JC	○	○
白根JC	○	×
加茂JC	○	×
燕三条JC	○	×
見附JC	○	×
長岡JC	○	×
柏崎JC	○	×
小千谷JC	○	×
魚沼JC	○	×
雪国JC	○	×
十日町JC	○	○
上越JC	○	×
妙高JC	○	×
糸魚川JC	○	×

## 1.9 新潟ブロック協議会内のLOMの法人格について

### ■各LOMの法人格について

LOM名	現状の法人格	法人格変更歴	法人格変更予定(無い場合は空欄)
いわふねJC	一般	2013年	
中条JC	一般	2013年	
新発田JC	一般	2013年	
にいがた北JC	一般	2013年	
佐渡JC	無		
新潟JC	一般	2013年	
新津JC	一般	2014年	
五泉阿賀JC	一般	2013年	
白根JC	一般	2013年	
加茂JC	一般	2013年	
燕三条JC	一般	2012年	
見附JC	無		
長岡JC	一般	2013年	
柏崎JC	一般	2013年	
小千谷JC	一般	2013年	
魚沼JC	一般	2013年	
雪国JC	一般	2013年	
十日町JC	一般	2021年	
上越JC	公益	2012年	
妙高JC	一般	2013年	
糸魚川JC	一般	2014年	

LOM名	ヒアリングした課題
いわふねJC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー減少により出向者を出せない</li> <li>・飲食店関係のメンバーがいない</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性メンバーが少ない</li> <li>・卒業したOB(個人・企業)からの入会者の紹介や従業員の入会がない</li> </ul>
中条JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員減少</li> <li>・単年度制に関わらず、引き継ぎ事業が膨らみすぎ、新たな取り組みを考えようという意欲を感じない</li> </ul>
新発田JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー数の減少</li> <li>・理事のなり手不足</li> </ul>
にいがた北JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員減少</li> <li>・会員拡大への取り組み意識の低下</li> </ul>
佐渡JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数とアクティブなメンバーの減少</li> <li>・ここ数年は卒業生の会社を中心に後継者以外の人を重点的に募ってみたが、入ってもアクティブメンバーになりにくい</li> <li>・入会してすぐの訳もわからないうちに、委員長や事務局長を任されることが常態化している</li> <li>・時間と金銭的なハードルが高く、理事長を担えるメンバーが枯渇している</li> </ul>
新潟JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による参画意識の低迷から抜け出せない</li> <li>・会員拡大により会員の属性に多様性が担保されたものの会員の資質面に難がある</li> <li>・ガバナンスやルールで強制や義務化することがもはや時代にそぐわない</li> </ul>
新津JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の減少・負担が偏っている・自律できていない・「何のために活動するのか」が全メンバーと共有、共感できていない。</li> <li>・20代メンバーが少ない</li> </ul>
五泉阿賀JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少</li> <li>・理事等の負担が特定のメンバーに偏って負担が大きくなっている</li> </ul>
白根JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーの減少及び予算不足</li> <li>・執行部の経験メンバーが手薄</li> <li>・会員候補者が少ない、入会に繋がらない</li> </ul>
加茂JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数減少及び会員候補者の減少</li> <li>・OB企業ご子息の入会が少ない</li> <li>・理事の成り手不足</li> <li>・例会や事業への参加率低下(子育て、仕事、スリープ会員)</li> </ul>
燕三条JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍年数の短いメンバーの増加による、熟練者の減少や参加</li> <li>・不参加者の二極化・継続事業の増加による、メンバーへの負担</li> <li>・会員減少による、予算不足や規模縮小</li> </ul>
見附JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーの減少に伴い、参加できるメンバーの負担増</li> <li>・会員拡大が上手くいっていない</li> </ul>
長岡JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの厳しさを大切にする価値観とモチベーションを大切にする価値観の対立</li> <li>・スリープメンバーが3割程度いて、アクティブメンバーにしわ寄せがいつている</li> <li>・LOM事業が多いため、出向意識が薄いメンバーが多い</li> <li>・LOM事業が多く、1委員会の議案上程が増え議案地獄になりがち</li> </ul>
柏崎JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー減少</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定のメンバーへの業務集中</li> <li>・事業、業務過多</li> <li>・20代へのアプローチ不足</li> <li>・メンバー入会時年齢の高齢化</li> </ul>
小千谷JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に参加するメンバーが限られてきている</li> <li>・20代の入会者が少なく、メンバーの年齢層が高くなり、入会してすぐに役員を経験することになってしまう</li> <li>・LOMの事業を成し遂げた経験のあるメンバーが減ってきているため、入会の浅いメンバーに対して、様々な面で教えることの機会が減ってきてしまっている</li> <li>・例会や事業が開催されるということは、誰かが努力をして開催できているということを当たり前のように捉えすぎていて、それに対する感謝や、当事者意識が薄れてきている印象がある</li> </ul>
魚沼JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少により、固定メンバーへの負担が多い</li> <li>・会員拡大が上手くいっていない</li> </ul>
雪国JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織全体で拡大したい(今年度6名入会だが、1人～2人のマンパワーで拡大している)</li> <li>・ほとんどのメンバーが新入会員を入会させた経験がない・出向に挑戦してほしい(少人数でLOMメンバーだけだと新たな考えや挑戦がないため)</li> <li>・各ファンクションにもっと大人数で参加したい(周年、スポーツ大会、京都会議、サマコン等)</li> </ul>
十日町JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員は増えているが入会後のケアをする余裕がない</li> <li>・アクティブなメンバーが固定化されている</li> <li>・理事を担うメンバーが固定化されている</li> <li>・地域の若者に認知されていない</li> </ul>
上越JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少</li> <li>・在籍年数の短期化</li> <li>・役職者の担い手不足</li> <li>・拡大への意識不足</li> <li>・例会参加率の低下</li> </ul>
妙高JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少</li> <li>・歴の浅いメンバーが多く、歴が浅いメンバーが役職を担わなくてはいけなくなっている</li> <li>・例会や事業などの活動への参加意識低下</li> </ul>
糸魚川JC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー数の減少</li> <li>・歴の浅いメンバーが多く、役職と出向の担い手不足・マーケティング能力がなく、事業構築力がない</li> <li>・ロジカル思考力がなく、事業構築力がない</li> <li>・事業構築力がないから、執行部や理事会での議論が深まらず、例会や事業が良いものにならない</li> <li>・資質の低下(無断欠席・無断遅刻・言い訳・他責思考・いいかげんな対応・嘘や捏造)</li> <li>・地域に根付いている昔からのJCへの負の認識が強い(酒飲み団体・ボンボン団体・私利私欲)</li> <li>・拡大に対する意識が低い(地域内でのしごらみもある・勧誘に対する苦手意識が強い・JCの理念に共感してもらえるような勧誘ができていない)</li> <li>・活動に全く参加しないスリープが多い(現状、半数はスリープ)</li> <li>・時間の融通がきかないメンバーが増え、役職を担える人が限られており、</li> </ul>

	<p>結果的に役職メンバーの負担が増えている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年会費や登録料の滞納者が増加(滞納したまま卒業するメンバーもいる・とりたてをする こと自体も精神的にツライ)</li> <li>・組織運営に対する意識の低下</li> <li>・委員会活動に対する意識の低下</li> </ul>
--	---

#### ■ブロック内のLOMの課題

会員数の減少と理事経験者の減少が課題として多くあげられる。また、入会3年目未満の会員も多く青年会議所の目的をわからないまま理事をしているメンバーが多くなっている。そのため、負担だと思ふメンバーが出てきて、出席率の低下が見て取れる。

### 1.10 新潟ブロック協議会における直近3年間の議長・委員長の経歴確認

#### ■ブロック協議会における議長・委員長の経歴確認

年度	役職	名前	LOMでの 理事経験の有無	入会後 何年目か
2024年度役員	委員長	谷川 朝美	×	5年目
	委員長	岡村 雄一郎	○	6年目
	委員長	星野 由加	○	8年目
	委員長	星野 雄哉	○	6年目
	委員長	西岡 修平	○	6年目
2023年度役員	委員長	中野 桂輔	○	5年目
	委員長	坂西 皓樹	×	2年目
	委員長	齋藤 雅也	○	8年目
	委員長	岸 雄策	○	6年目
	委員長	寺崎 雄太	×	3年目
2022年度役員	委員長	小松原 寛	×	3年目
	委員長	高橋 司	○	9年目

	委員長	窪 明博	○	6年目
	委員長	湊岡 優介	○	4年目

## 2 地域が描く理想の未来について

### 2.1 新潟ブロック協議会の現状についての考察

近年LOM内のメンバー数が少なくなったことにより、ブロック協議会、地区協議会、日本青年会議所へ出向できるメンバーも少なくなってきました。そのため外からの情報が入ってこないのと同時にLOM内での教育が手薄になり、LOMでもブロック協議会でも青年会議所の目的をわからずに理事や役員になるメンバーが増えてきています。そのことが悪循環となりJCという組織が選ばれなくなっているのかもひとつの原因かもしれません。今後、新潟ブロック協議会も各LOMと連携をして継続的に入会者を増やし、地域のリーダーになるための人財育成、未来をよくするための運動を展開していく必要があります。会員拡大はブロック協議会を通じて日本青年会議所や地区協議会と情報を共有し、各LOMの課題に沿った拡大事業の開催やJCプログラム、JCセミナーを各エリアで開催します。

### 2.2 ブロック会長として描く地域の理想の未来(長期的なビジョン)

新潟県は21のLOMがあり、人数の多いLOMも少ないLOMも課題は類似しています。各LOMの課題を解決するための支援をするだけではなくこれからの未来を考えて支援していかなければなりません。まだ見つけ出せていない地域に眠る人財、資源、文化を見つけたし新潟県のさらなる発展につなげていきます。また、新潟ブロック内3年目未満人数が40%程となっております。拡大しても育てるメンバーがいないことが問題となっているため、これから先も続けられるアカデミーの仕組みを構築します。

### 2.3 2025年度の方向性

新潟ブロック協議会はLOMの支援を最大限行っていかなければなりません。日本青年会議所が何を課題とし、何を解決しなければいけないのかをしっかりと伝え、共感していただき活用していただきます。また各LOMの繋がりが今まで以上に連携できるよう新潟ブロックコンファレンス、新潟ブロック大会を通じて、各LOMやメンバーの交流を促進していきます。また、各LOMの運動に欠かせない同志となる新しいメンバーの獲得やLOMの財政強化に繋がる政策を検討します。さらに、メンバーの育成の一助となる新潟ブロック協議会独自のアカデミーを開催し、今後の各LOMの中核を担う人財の成長につなげます。各LOMが互いに手を取り合って運動を展開していく土壌を構築し、今後も続いていく未来まで効果を発揮し、継続的に良好な運動を行えるようにしていきます。

### 2.4 前年度からの引継ぎを反映したアップデートポイント

- 理念共感ランドデザインを浸透、検証をさせるための委員会設置
- 入会3年目未満のメンバーが活躍できる委員会の設置

### 3 基本方針

#### 基本方針

Creator The Future

我々が新潟を変えたと誇れる未来の創造

#### 事業計画

1. 【ブロ連】各地域における課題と質の高い運動の調査・発掘・研究
2. 【ブロ連】地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究
3. 【ブロ連】誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援
4. 【ブロ連】ブロックアカデミーにおけるJAYCEE育成カリキュラムの運用
5. 【ブロ連】理念共感拡大グランドデザインの検証
6. ASPAC新潟大会に向けたブロック連携
7. ブロックコンファレンスの実施
8. JCカップU-11少年少女サッカー大会の実施
9. 防災ネットワークの体制強化
10. 青少年事業の実施
11. ブロック大会の実施



## 4 ブロック連携事業(政策手法)

### ■ 本会方針

#### ① 各地域における課題と質の高い運動の調査・発掘・研究

---

### ■ 本会方針

各地域から全体最適化が可能な質の高い事業を収集することで、地域間の連携を強化し、外部からの視点を取り入れ地域の魅力を発掘します。その魅力を地域内の各種ステークホルダーや地域間の協力により、各地で使える枠組みにして全国に広めることを目的とします。

### ■ ブロックでの実施方法

新潟県内21LOMからヒアリングを行い、今まで行った質の高い運動になっている事業を調査し、運動構築支援委員会に支援をいただきながら、事業構築の仕方や地域との連携を発信していきます。また各LOMの対外例会及び事業内容をより詳細に共有できる仕組みを構築し各LOMの質の高い事業を県内外へ発信します。

### ■ ブロックでの実施時期

1月から8月を予定しています。

#### ② 地域に眠る活用しきれしていない資源の調査・発掘・研究

---

### ■ 本会方針

年間を通じて、地域に眠る活用しきれしていない資源を外部の視点を交えて調査発掘をします。有識者や、関係機関と連携し、経済活動として利益を生み出しつつ環境保全にも貢献する好循環モデルを研究します。

### ■ ブロックでの実施方法

各LOMが地域のステークホルダーを巻き込みインバウンドを推進し、地域経済が活性化するための支援を行います。

### ■ ブロックでの実施時期

通年を予定しています。

#### ③ 誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援

---

### ■ 本会方針

JCプログラムのJCI AchieveやJCI Impactをブロック協議会主導で開催します。地域の課題を見出し、地域社会を巻き込んだ事業を行うためのJCI アクションフレーム(JAF)を活用し、社会参加の概念や地域コ

コミュニティのニーズの分析で運動構築のヒントを得ることを目的にブロック協議会と連携しながら支援を行います。

#### ■ブロックでの実施方法

JCI AchieveやJCI Impactをブロック協議会主導で開催します。実施に伴い、LOMの状況に応じた育成モデルを推進することで全LOM対象として実施するものと分けをして展開していきます。

#### ■ブロックでの実施時期

2月から8月を予定しています。

### ④ ブロックアカデミーにおけるJAYCEE育成カリキュラムの運用

---

#### ■本会方針

組織を活性化させるためにはメンバーが共通の価値観を持つことが不可欠ですが、現状はJC在籍歴が短いメンバーが多く、必ずしも価値観が統一できていない状態にあります。まずは各地域に共通して適用できる育成カリキュラムを、協議会と連携して実施する必要があります。

#### ■ブロックでの実施方法

入会3年目のメンバーが多くJCの目的が分からないメンバーが増えています。入会3年目未満のメンバーを委員会メンバーに迎え入れアカデミーを開催します。毎月委員会に講師（日本青年会議所役員経験者、ブロック内理事長経験者）を招き青年会議所の基礎、基本の勉強会を開き地域の課題を見つけてもらいます。

#### ■ブロックでの実施時期

2月から8月を予定しています。

### ⑤ 理念共感拡大グランドデザインの検証

---

#### ■本会方針

人が自然と集まる組織をビジョンに掲げた中期計画の理念共感拡大グランドデザインが最終年度をむかえるにあたり、現状の把握と5年間の効果について調査する必要があります。理念浸透サーベイの実施とその分析を軸に、目標達成に向けた理念浸透率や具体的なアクションの促進状況についてブロック協議会と連携し、検証を行います。

#### ■ブロックでの実施方法

各LOMの理念共感の浸透率はかなり低い状況だと考えられます。青年会議所に入会しているからには理念共感の大切さを知ってもらい、各LOMメンバーに浸透させると同時に各LOMでの研修に取り入れてもらえるようにブロック協議会から働きかけをしていきます。

## ■ブロックでの実施時期

通年を予定しています。

## 5 ブロック独自の事業

### ① ASPAC新潟大会に向けたブロック連携

#### ■背景

2026年にASPAC新潟大会を新潟青年会議所主観で行います。コロナ禍での主管、副主幹締結だったためASPACが新潟で行われることを知らないメンバーが多くいるため、周知して新潟全体で盛り上げていく必要があります。

#### ■目的

新潟県内21LOMの例会を回りASPACとはどのような大会なのかを周知し、協力体制を築きます。

#### ■推進体制

連携パートナー:

- 1)新潟青年会議所(協力)
- 2)新潟県(提携)
- 3)新潟市(協力)
- 4)JCI関係委員会
- 5)新潟ブロック協議会21LOM(協力)
- 6)新潟県観光協会(協力)
- 7)メディア(広報)

参加対象者:新潟ブロック協議会21LOMメンバー

#### ■施策の詳細

ASPAC新潟大会を開催することで得られる効果を共有しブロック内の参加率を上げるために、過去に日本国内で行った堺高石青年会議所、鹿児島青年会議所からブロック連携をどのように行ったかを調査し、ブロック内で周知します。また、2026年に向けて新潟青年会議所と連携をしてASPACを開催するために県内21LOMはどのように関わりを持つか(新潟県内行政との連携、飲食店への多言語化対応依頼、ホテルへの協力依頼、各地域で行われるエクスカーションの準備等)を準備していきます。2025年ASPACウランバトル大会でのブース出展協力を行います。

## ② 新潟ブロックコンファレンスの企画・開催

---

### ■背景

より良い新潟県の実現に向けて新潟ブロック協議会は毎年、各LOMの支援をしながら、新潟県を牽引するための様々な運動を展開しています。この私たちの運動は多くの方との調和によって成り立っており、2025年度も力強く運動を推進していくために、新潟ブロック協議会をはじめ、各LOMとの連携の礎を築く場が必要です。

### ■目的

各LOM、各種団体が新潟ブロック協議会と連携する機運を高めてもらうことを目的とします。

### ■推進体制

連携パートナー:

- 1)新潟ブロック協議会21LOM(協働)

参加対象者:各種団体、新潟ブロック協議会21LOMメンバー

### ■施策の詳細

本事業は、新潟ブロック協議会の基本方針と委員会の1年間の活動について式典を通じて、各LOM、各種団体にお披露目し、1年間協力していただけるよう周知していきます。また、各LOMの交流の場となる懇親会を設営し、会話を重ねることで、メンバー同士の信頼、友情を構築してブロック協議会内21LOMの連携を深めてもらう機会とします。

### ③ JCカップU-11少年少女サッカー大会の企画・実施

---

#### ■背景

同じ地域に住まう人々が互いに思いやる社会を実現していくために、地域の未来を担う子ども達にスポーツの力を通じ、協力しあう必要性と他者への思いやりの大切さを兼ね備えた人財の育成が必要です。

#### ■目的

素朴で純粋な親切心で人々が助け合う社会を実現していくために、地域の未来を担う子どもたちにスポーツの力を通じ、協力しあうことの価値を体感してもらうことで、他者を思いやる心とあくなき挑戦心を兼ね備えた人財を育成します。

#### ■推進体制

連携パートナー:

- 1)新潟ブロック協議会21LOM(協力)
- 2)北陸信越地区協議会(協力)
- 3)スポーツの力委員会(協力)
- 4)新潟県サッカー協会(協力)
- 5)メディア(広報)

参加対象者:新潟内の子ども

#### ■施策の詳細

子どもたちには誰もが輝ける場所を提供することで、多彩な人財が活躍するための土壌を作ります。多様性を認め合うことがよりよい社会へと繋がるという意識を醸成することに加え、共にスポーツでわかり合い、お互いの違いを認め、尊重し合う共生社会を実現する事業を実施します。また、開催方法については JC カップの地区予選と同時開催するものとし、JC カップ出場者を主な対象者とし体験の機会を提供します。

#### ④ 防災ネットワークの体制強化

---

##### ■背景

近年、日本国内においても様々な自然災害が起こっているため、市民のリーダーとして活動をするJCは災害時も率先して行動をすることが大切であり、ブロック協議会は日頃から発災に備えた各LOMの連携強化をする必要があります。

##### ■目的

発災時の県内21LOMの連携体制を確認することを目的とします。

##### ■推進体制

連携パートナー:

- 1)社会福祉協議会(協力)
- 2)北陸信越地区協議会(協力)
- 3)新潟ブロック協議会21LOM(協力)
- 4)日本JC レジリエンス強化委員会(協力)
- 5)新潟県(連携・協力)
- 6)メディア(広報)

参加対象者:新潟ブロック協議会21LOMメンバー

##### ■施策の詳細

震災が増えている昨今の状況を把握しブロック協議会が起点となって県内21LOMに対して災害情報の共有を迅速化及び災害発生時の即動力向上のための組織体制の構築を行います。新潟県内21LOMは共通の認識を持ち災害に備えることで有事の際、迅速に災害支援に取り掛かれる体制づくりを強化します。

## ⑤ 青少年育成事業の企画・実施

---

### ■背景

社会課題を認識して課題解決に向けて取り組むためには、当事者意識を持つことが大事であるが、普段の私生活では社会課題に気付く場面も多くはない。子どもたちが様々な観点から物事を考えるきっかけを早い段階で得ることができれば、将来の地域の中核を担う青年として成長し、社会で活躍する可能性が高まります。

### ■目的

子どもたちに新潟の魅力や課題を知ってもらうことを目的とします。

### ■推進体制

連携パートナー:

- 1)新潟ブロック協議会21LOM(協力)
- 2)新潟県教育委員会(協力)

参加対象者:新潟県内の子ども

### ■施策の詳細

子どもたちが普段の私生活や学校ではなかなか学ぶことができない体験学習をブロック協議会と各LOMの連携を用いて実施します。

## ⑥ 新潟ブロック大会IN白根の実施

---

### ■背景

より良い新潟県の実現に向けて新潟ブロック協議会は毎年、各LOMの支援をしながら、新潟県を牽引するための様々な運動を展開しています。この私たちの運動は多くの方との調和によって成り立っており、2025年度も力強く運動を推進していくために、新潟ブロック協議会をはじめ、各LOMとの連携の礎を築く場が必要です。

### ■目的

各LOM、各種団体が新潟ブロック協議会と連携する機運を高めてもらうことを目的とし、ブロック協議会事業の集大成として各委員会がおこなった事業の報告を行います。

### ■推進体制

連携パートナー:

- 1)白根青年会議所(開催)
- 2)新潟ブロック協議会21LOM(協力)
- 3)新潟県(協力)

参加対象者:各種団体、各LOMメンバー、新潟県民

### ■施策の詳細

新潟ブロック協議会の運動のまとめと、2026年度への引継ぎを行います。



## 6 参考資料一覧

- ・新潟県総合戦略

[https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/life/683881\\_2060543\\_misc.pdf](https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/life/683881_2060543_misc.pdf)

- ・新潟県防災局

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/>

- ・新潟県教育委員会

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>

- ・新潟県民アンケート調査結果

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kouhou/1238523014912.html>

- ・新潟県観光入込客統計調査

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/407407.pdf>

以上